

港区まちづくり マスタープラン

高輪地区

意見交換会ニュース vol.1

令和7年8月

高輪地区で意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。令和7年7月31日には、高輪地区の意見交換会を開催しました。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会は、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題や将来ビジョンについてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。次回意見交換会は、12月頃に開催予定です。



当日は、区より、マスタープランの概要や地区の現況等について紹介の後、「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。

当日の主なご意見

— 高輪地区の魅力と課題について、ご意見をいただきました —

土地利用・活用

民間開発をコントロールし

メリハリのある街並みづくりを

- ・ 環状第4号線の整備による商業化や地域分断が懸念される。生活面は便利だが、地価が上がり、代々住み続けられないエリアになってしまっている。
- ・ 開発事業者と地域住民との十分なコミュニケーションが必要。
- ・ 地域全体で横のつながりを強め、まちづくりのビジョンを共有するため、銀座のような地域全体での協議体制の構築が望まれる。

開発時には、新旧の共存に配慮すべき

- ・ 歴史的な街並みと新しい開発のバランスをコントロールすることが、地域の発展につながる。
- ・ 再開発により、歴史あるものが壊されている。オールタウンとして残すことも考えてほしい。未来都市づくりは進んでいるが、古いものも若い人たちのために残すべき。

低層中心の良好な住環境の 維持と調和への配慮が必要

- ・ 高輪の住宅地を守りたい。昔からある住宅地と共存する開発の在り方を考えてほしい。
- ・ 自然教育園周辺は風通りがよく、環境も良い。今後周辺開発があっても、低層中心の街並みとの調和に配慮が必要。

道路・交通

公共交通が充実

- ・ 鉄道網、バスなどの公共交通が充実している。

都市計画道路の整備による歩道拡幅に期待

- ・ 二本榎通りのグランドプリンスホテル前の歩道が狭く歩きにくいと感じる。
- ・ 道端にベンチなど座って休める場所が増えるとよい。開発に合わせて歩道を拡幅してほしい。

細街路の拡幅を進めてほしい

- ・ 高輪地区には細い道路や一方通行が多く、車いすやベビーカーが通れない歩道がある。緊急車両が入れないなど防災面でも心配である。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

際立つ住環境の良さ

- ・ 都心にありながら落ち着いた雰囲気がある。利便性と落ち着いた雰囲気のバランスが良い。
- ・ 子育て世帯は増えている。お祭りやラジオ体操に大勢参加してくれる。
- ・ 治安が良い。事件も少なく、警察署も親切。街の雰囲気や地域のコミュニティが醸成され、人情がある。

古くからの商店街を応援したい

- ・ コミュニティに根差した個人商店やカフェなどが存続できるまちであってほしい。
- ・ 二本榎通りにある商店会には、かつては映画館もあったがなくなって残念。

新しいマンションと古くから住む住民の 交流が少ない

- ・ マンションは新築当初のみ町会に加入し、数年間で脱会するケースがある。マンションが町会に入らないと、コミュニティが希薄になる。

多文化共生できるか不安

- ・ 今後も外国人が増える見込みで、共生できるか不安。
- ・ 英語の教育水準が高く、多文化共生に生かしやすい。

まちづくりの中で喫煙所の場所を考えて

- ・ 女性トイレの前にあったり受動喫煙の心配もあり、喫煙所の位置はまちづくりの中で解決してほしい。

ガラス張り高層ビルの西日対策が必要

- ・ ガラス張りの高層ビルの影響で西日の問題が発生。ビル風も強い。

駅周辺の自転車等駐車場が不足

- ・ 自転車利用者が多いのに公立駐輪場が少ない。駅周辺、駅の横道などに駐輪する人が多く、通行の妨げになる。公立駐輪場を増やしてほしい。

朝ラッシュ時の地下鉄駅構内が混雑

- ・ 南北線と三田線の朝ラッシュが厳しい。白金高輪駅はホームに人があふれるほど混雑する。
- ・ リニアが開通した後の人の流れ、交通網の変化が分からない。住民にとって便利になるかどうか。

緑・水

都心のオアシス

- 東京都庭園美術館、高輪森の公園などがあり、緑が豊かで「都心のオアシス」のように感じる。

緑豊かで落ち着いた環境

- 自然教育園をはじめ、緑が多い。公園やトイレの管理が行き届いており、気持ちがいい。
- 緑が豊かで落ち着いた環境が気に入っている。歴史を感じる緑を将来のために残したい。

子どものあそび場確保

- 亀塚公園や三田台の緑に癒される。子どもの遊び場が確保されている。
- 道路整備により、公園や緑、子どもの遊び場が失われることを懸念。

区民が利用できるみどりを増やしたい

- 道路の街路樹を充実してほしい。
- 港区の緑地は寺などが多く、区民が利用できるスペースは他区に比べて少ないと感じる。
- みどりでつながるプロジェクトを区の緑を増やす取組として有効活用してほしい。

景観

保全したい町並みとランドマーク

- 高輪や白金は下町感のある街並みが魅力であり、再開発等で壊れないようにすべき。
- 東京都庭園美術館は貴重な建物であるため、保全と共に、周辺含めたランドマーク性を強化したい。
- プラチナ通りのイチヨウ並木は景観がよい。一方で銀杏が落ちて大変。維持管理を徹底すべき。

国際化・観光・文化

高輪地区の歴史資源は地域の魅力

- 二本榎通りを中心に、江戸時代の明暦の大火後に寺が集められた寺町としての歴史がある。高輪地区にまつわる歴史(文献や昔住んでいた人など)を感じられると嬉しい。
- 旧服部金太郎邸、野村證券高輪研修センターを開発から守ってほしい。

地域における交流に配慮

- 地域と企業等との交流が少ない。外国ルーツの人も多く、まちづくりにおける配慮が必要。

高輪築堤は全国に誇る貴重な遺構

- 高輪築堤は鉄道発祥当時の貴重な遺構。世界遺産に相当する。歴史的な資源として保存し、観光拠点として発信していきたい。

防災・復興

高層マンションの災害対策

- 停電でエレベーターが動かなくなると、高層マンションの住民は移動できなくなる。個々の住民による対策が必要になる。
- 高層ビルはガラス面が多く地震の際に危険に感じる。
- 災害時に避難出来るように、防災施設を大規模高層ビルに入れた計画にしてほしい。

老朽マンションの安全性、建替えの不安

- 旧耐震のマンションも多く、災害時の安全性と共に、建替えられるのか不安。特に緊急輸送道路沿道のマンションは早期の対策が必要。

避難所の空白エリアがある

- 避難所が不足しているエリアがある。高低差があるため、長距離の避難は難しい。

水害・地震に強いまちづくりを

- 浸水の可能性がある三田5丁目に福祉施設が多く、避難所も位置している。
- 台風の度に古川の氾濫が話題になるので心配。

低炭素化

環境のためにも、樹木を維持したい

- 区内外の公園で木の伐採が問題になっている。環境のためにも二酸化炭素を吸収する木を残してほしい。

